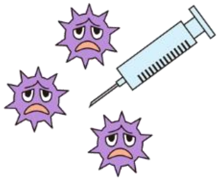
ファイザー製 mRNAワクチンについて

これまでのワクチンは、ヒトの身体の中で、病原ウイルスに対する免疫を上げるために、病原体は生きているが病原性を弱めたものや、病原性のないウイルスの一部（抗原となるタンパク質）を接種するものが一般的でした。

今回のファイザー社のワクチンは、ウイルスの表面にある、タンパク質を作る基になる情報（メッセンジャーRNA）が含まれています。ワクチンを接種すると、人の細胞内でウイルスの表面のたんぱく質が作られ、異物であると認識されることでウイルスに対する免疫が出来上がります。



mRNAワクチンには免疫反応をより良く起こすための成分（アジュバント）や、水銀を含む保存剤は一切含まれていません。
また、実際の細胞を使わずに工場内で合成されているため、細胞の成分等が混入することも原理的にあり得ません。

ワクチンの mRNA は細胞の中のタンパク質を合成する工場（リボソーム）で使われたあと、すぐに分解されてしまいます。さらに mRNA をもとにつくられたタンパク質も10日前後で分解されることがわかっています。このことから、mRNAワクチンの成分が体の中に長く残ることはないと考えられています。

コロナワクチンに関する問い合わせ先

藤沢市専用コールセンター

電話番号：０５７０-０７-２２３０
受付時間：毎日（土日祝日含む）
９時～２１時

ワクチン接種後に生じた副反応に係る相談など

神奈川県新型コロナウイルスワクチン相談センター
電話番号：０４５-２８５-０７１９
受付時間：２４時間

薬やアレルギーに関する問い合わせ先

相談は、かかりつけ薬局や「おくすり相談薬局」で！

一般社団法人藤沢市薬剤師会

藤沢市薬剤師会広報誌

ふじやく

薬剤師が教える！

新型コロナウイルスワクチンについて

～今から準備しておきたいこと～

知ること・伝えること

作成日：2021年4月15日

知ること

効果・利点

ワクチン接種を受けた場合は、受けない場合に比べ、発症リスクが２０分の１になるというデータがあります。これは、新型コロナウイルスに感染した場合に、症状が出る（発症する）可能性を５％に減らせたということになります。
また、この発症予防効果のほかに、現在も検証中ではありますが、「重症化を防ぐ効果」も期待されています。

投与方法

通常、３週間の間隔で筋肉内に接種をします。

費用

全額公費負担のため無料で接種することができます。

安全性・副反応

承認されているファイザー社のワクチンは、国内臨床試験の結果を踏まえて、有効性・安全性が確かめられました。また、既に、アメリカでは、１回以上のワクチン接種をした人が約１億２００万人に達しています。（4/16時点）
副反応の多くは注射部位の腫れや痛みなど局所反応で、発熱、倦怠感などの全身症状も後遺症のない一過性のものと報告されています。ごくまれにアナフィラキシーを起こす方がいますが、適切に処置をすればいずれも治療の可能なものになります。

接種日当日の注意

接種後の症状を観察をする必要があります。接種会場で15分以上座って様子をみてください。会場担当の指示に従ってください。
接種当日は、激しい運動、飲酒を避けてください。接種部位は清潔に保ち、入浴は差し支えありませんが、接種部位をこすることはやめましょう。

接種後、数日以内に注意すること

２～３日間は、頭痛、倦怠感、筋肉痛、悪寒、下痢、関節痛、発熱などが現れる可能性があります。
注射部位の痛みは約８割の人で、倦怠感は約５割、頭痛は約４割の人で発症する可能性がありますが、ほとんどの場合、１～２日後には症状が消失しています。痛みや熱の症状が強ければ、解熱鎮痛剤（アセトアミノフェン等）を使用することも可能ですが、予防的な解熱鎮痛剤の使用はワクチンの効果が弱くなる可能性があるため注意が必要です。

伝えること

服用中の薬について

免疫抑制剤や抗体製剤などの医薬品の治療を受けている場合は、ワクチン接種後の抗体産生が妨げられる可能性があります。

アレルギー歴・アナフィラキシー

食べ物や薬でアレルギーを起こしたことがある方でも、多くの場合はワクチン接種を受けることができます。しかし、ワクチンに含まれるポリエチレングリコール（PEG）や（含まれていないが交差反応がある）ポリソルベートに対して重いアレルギー反応を起こしたことがある場合は推奨されません。
（※）ポリエチレングリコールは、一般に大腸検査の下痢や薬剤などを溶かす際に用いられます。また、ポリソルベートは、乳化剤として、様々な食品に用いられています。